

安全データシート

整理番号 No.1018

作成 1995年06月10日 改訂 2024年04月01日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 パックテスト マンガン 型式 WAK-Mn

会社名 株式会社立理化学研究所

住所 〒226-0006 神奈川県横浜市緑区白山1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク

電話番号 045-482-6937

FAX 045-507-3418

担当部署 営業部

用途と使用上の制限 水質測定用の試薬

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：刺激性

その影響：吸入又は経口摂取すれば有害である。眼、皮膚、粘膜に接触すると刺激作用がある。
長期暴露により不快感、吐き気、頭痛等が起こるおそれがある。

【GHS分類】

物理化学的危険性： 分類できない (GHS分類に必要なデータなし)

健康有害性： 分類できない (GHS分類に必要なデータなし)

環境有害性： 分類できない (GHS分類に必要なデータなし)

【GHSラベル要素】

なし

【注意喚起用語】

なし

【危険有害性情報】

なし

【注意書き】

試薬は子どもの手の届かない、乾暗所（常温）に保管すること。

使用前に使用法をよく読み、記載以外の使い方をしないこと。

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

試薬を吸入しないこと。

汚染された衣類は洗濯すること。

取扱い前後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

試薬名	K-1 試薬		
化学名	過よウ素酸カリウム	その他*	ポリエチレン
含有量	1 - 4.9 %	5 - 9.9 %	80 - 89 %
化学式	KIO ₄	—	(C ₂ H ₄) _n
官報公示 整理番号	1-441	—	6-1
CAS No.	7790-21-8	—	9002-88-4

*規制物質含まず

4. 応急措置

試薬や測定液が

- 眼に入った場合 : 直ちによく洗眼する。
- 皮膚に付いた場合 : 直ちに多量の水で触れた部分をよく洗い流す。
- 口に入った場合 : 直ちに多量の水で口の中をよく洗い流す。

内容物を飲み込んだり、上記の措置後に異常があった場合には、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
- 消火剤 : 水(噴霧)、粉末消火薬剤、炭酸ガス、乾燥砂

6. 漏出時の措置

屋外では、試薬や廃液がこぼれないよう注意する。

屋内では、机面・床面等に試薬や廃液がこぼれた場合は直ちに拭き取り、廃棄する。その際、眼や皮膚に触れないようにする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 試薬は眼や皮膚に触れたり、口に入れたりしないように注意する。特にチューブ内の粉末試薬は吸い込まないように注意する。

また、屋外での使用時には、試薬および測定後の廃液、使用済み容器は必ず持ち帰る。

保管 : 直射日光を避け、換気の良い乾暗所(常温)に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度(作業環境評価基準) : 設定されていない。

許容濃度(日本産業衛生学会) : 設定されていない。

(ACGIH(TLVs)) : 設定されていない。

(OSHA(PEL)) : 設定されていない。

保護具 : 保護眼鏡・保護手袋等の使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態 : K-1試薬: 粉末入りチューブ 1.1g×50本/キット 5本ずつアルミラミネート包装

試薬の色 : K-1試薬: 白色(粉末)、半透明(ポリエチレンチューブ)

試薬の臭い : K-1試薬: なし

測定pH : 7

混合物として融点、沸点、引火点、発火点、爆発限界下限、蒸気圧、密度、比重、溶解性、 P_{ow} 、動粘性率等のデータなし。

10. 安定性及び反応性

高温、多湿、直射日光下への放置を避ける。

通常の使用条件では安定であり、特定条件下で生じる危険な反応もなし。

危険有害な分解生成物についてのデータなし。

11. 有害性情報

混合物についてのデータはない。個別物質について記す。

過よ素酸カリウム :

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2に分類される。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分2Aに分類される。

その他の項目についてのデータなし。

ポリエチレン :

急性毒性 : 経口-ラット $LD_{50} > 7,950\text{mg/kg}$ (下記、 ATE_{mix} 値算出時は $7,950\text{mg/kg}$ として計算)

発がん性 : IARCのグループ3(ヒトに対する発がん性は評価できない。)

その他の項目についてのデータなし。

以下、混合物としてGHS分類判定について記す。

[急性毒性(経口)]、[急性毒性(経皮)]、[急性毒性(吸入)]、[皮膚腐食性/刺激性]、
 [眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性]、[呼吸器感作性又は皮膚感作性]、[生殖細胞変異原性]、[発がん性]、
 [生殖毒性]、[特定標的臓器毒性(単回ばく露)]、[特定標的臓器毒性(反復ばく露)]、[誤えん有害性]
 以上の項目は含有成分のデータがそろっていないため分類できない。

12. 環境影響情報

混合物についてのデータはない。個別物質について記す。

過よう素酸カリウム、ポリフェレン：環境影響情報についてのデータなし。

以下、混合物としてGHS分類判定について記す。

[水生環境有害性 短期(急性)]、[水生環境有害性 長期(慢性)]
 以上の項目は、含有成分のデータがそろっていないため、分類できない。
 [オゾン層への有害性]
 以上の項目は、含有成分がモトリオール議定書の附属書に列記されていないため、分類できない。

13. 廃棄上の注意

事業活動で使用する場合は、各関係法令に従って適切に廃棄する。
 残余廃棄物や使用済み容器はそのまま「燃やすゴミ」としての廃棄も推奨する。

14. 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、容器が破損しないように乱暴な取扱いを避ける。
 また、長距離の輸送の場合は、長時間の高温状態は試薬の劣化が考えられるため、航空機による輸送が望ましい。

国連番号	1479
品名	その他の酸化性物質(固体)(他の危険性を有しないもの)
国連分類	クラス5.1(酸化性物質)
容器等級	II
航空法	同上、ただし本製品は微量輸送許容物件に該当する。
消防法	該当せず。
製品総重量	約140g/キット

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 該当せず。
 PRTR法 該当せず。
 労働安全衛生法 過よう素酸カリウムを1%以上含有し、以下に該当する。
 「法施行令(名称等を表示すべき危険物及び有害物)第18条 第2号」
 「法施行令(名称等を通知すべき危険物及び有害物)第18条の2 第2号」

16. その他の情報

引用・参考文献

15,911の化学商品, 化学工業日報社(2011)
 安全データシート No.W01W0116-0416 JGHEJP, 富士フイルム和光純薬株式会社(2021.01.12)
 製品安全データシート No.051110033, 東ソー株式会社(2004.07.09)
 国土交通省航空局監修, 航空危険物輸送法令集, 鳳文書林出版販売(2019)
 JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学物質等の分類方法(日本工業標準調査会 審議)
 JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)(日本工業標準調査会 審議)
 GHS国連文書(仮訳 改訂4版)、GHS関係省庁連絡会議(2011)
 経済産業省, 事業者向けGHS分類ガイドライン(平成25年度改訂版)(2013)

注) この情報は、必ずしも充分ではないので、取扱いには注意をお願いします。
 本データシートは情報を提供するもので記載内容を保証するものではありません。
 新しい知見やそれに伴う従来の考え方の修正等により、記載内容に変更が生ずることがあります。
 なお、注意事項は通常の実施を前提としております。

更新履歴（2024/04/01以降）

2024/04/01 労働安全衛生法の改正に伴う改訂